



カイロ大学は、上記の規律を社会に提供し、我が国の目指す発展を実現するため、皆が自身の規律として捉え、参加するよう呼びかけていく。



# カイロ大学の啓蒙規律

文化・啓蒙議会 会長  
カイロ大学 学長 モハンマド・オスマーン・アルホシュト

将来を見据えた合理的な視点が、カイロ大学の方向性である。  
近代国家の再建、発展、啓蒙思想を実現するためには、新たなエジプト人の人材を育成すること。また、学生および研究者の考え方を換え、創造または工夫ができる明瞭な頭脳を作り、国民国家の発展に貢献すること。これらは国家の挑戦である。

我が大学の成長の現段階の目標は、カイロ大学を((第三世代))の一つの大学にさせ、啓蒙・合理化・多様化、そして国家意識に貢献した本大学の創設者の思想を取り戻し、発展及び、国際史の流れに向けた新たな憲法を作ることである。

カイロ大学の設立に、教育及び各学問を伝えるのが((第一世代))であれば、教育及び学問を結ぶのが((第二世代))である。  
現在カイロ大学は、教育と科学的な研究、そして国民国家を総合的に発展させるために、各学問を機能させる((第三世代))となることを目標とする。

これは、文化的、科学的、経済的、社会的発展でもあり、人材・原料・国家・社会そして個人の成長を目指して、広範囲に渡り国民国家の経済のためにプラスとなることを意味する。  
その為、学問間の交流を拡大化させ、事業及びプロジェクト経営の先駆者となる思考を成長させる。

従来職員及び学者を育成する段階を超えて、各事業の先駆者である人材を卒業させ、大学内の各研究所の向上を優先し、近代化・啓蒙・発展の為、大学運営を中央に集中させず、国際的な価値観並びにアカデミックな経営などを重視する。

上述したことを踏まえ、カイロ大学のビジョンを支配するいくつかの規律を下記のように述べる。



1. カイロ大学は、世俗的、合理的、そして自由が原則であり、意見の違いや国民国家の枠組みの工夫ある考えの多様化を認める。つまり、カイロ大学は全てのエジプト人のホームであることを強調するのもである。

2. 共存という価値観を根本とする、近代的なエジプトのアイデンティティを強調する。特にカイロ大学は、常にそのアイデンティティを形成してきた場でもある。

3. 近代概念でいう合理的な思考を使い、その挑戦を恐れずに結びつける啓蒙概念を規定する。啓蒙とは、介入なき勇気のある考え方を促す手段である。

4. 多様な解釈及び、宗教テキストによる科学的な読み方に基づく宗教的かつ文化的な新たなスピーチを提供する。

5. 宗教テキストにある理解や、現実の理解を妨げるように仕向ける、過激で偏った思想を避けて、テロと過激的な行為に対抗できるような、アラブの理性をもつ思想を創る。

6. 国際的な考えや他の啓蒙的な体験に開かれることである。ゆえ、大学は国家利益の観点から、思想や芸術、歴史、情報源の多様化、そして技術的な能力を身につける。

7. 後進的かつ固定されがちな思想に対し、開かれた前進的な学問並びに思想を提供する。これは創造かつ発展を妨げる、ありきたりな教育パターンから離れた、批評能力を高めることができる創造的な思想を目指すことであり、変化や応用に順応または対応できず、暗記に頼る消極的な考え方に対抗できるようにする。

8. 思考的で創造的、かつ柔軟性があり、政治力も備わる、経営者のプロを目指すための人材開発を行う。これは、教育もしくは、それに関わる活動を目的とする。なぜならば、教育はバランスの取れた人材形成に最も大きな影響を与え、将来の大いなる可能性を秘めるものであるからだ。

9. 発見や創造や学問上の自由を奨励し、教育環境を作ること。研究者と学生がより高いレベルの教育を目指し、教育上のカリキュラムを超えて、目標のある科学的な研究に展開させるのを目指す。

10. 諸問題の解決に向けて、原因究明への思考力や、科学的に解明できるような分析力を養うことができる、新たな教育カリキュラムを作ること。これは、((頭脳明晰))に対応できることや、事実を導き出せる((対話力))を目指すことである。すなわち、思考・批評・選択・創造できる力を有する人材を育成する。

11. 学生の能力や考え方を評価するた

め、新たな試験・評価方法を再考する。従来の評価方法では、学生が暗記することにより、考える力が欠如し、偏った思考力が身につけてしまう。それをテロ組織が利用して学生を洗脳し、従事させることへの恐れがある。

12. 広い範囲でいえる、文明化に向けたライフスタイルに変えるよう働きかけ、発展する精神を身につけさせる。そして、行動を支配する道徳を変えることを目指す。

13. 宗教、人種、社会による差別をしないこと。全ての人は同じ国民である以上、法律を前に皆が平等である。民主化が社会平和を最も保障できるのであり、国民国家の枠組みの中で相互理解を深める。民主化は差別的な行為やテロ、そして原理的思想を崩壊させることなくしては、目標を達することはできない。

14. 突出した能力を持つ人材を発掘し、それらのために科学、芸術、文化、スポーツなど、それぞれの分野にて、可能性を伸ばせる環境を整える。学生が共生及び啓蒙啓発し道徳を身につけるため、それぞれの活動を活性化させる。これは、討論会や複数のコンサートなどの外的要因によって実現するものではなく、文化的な活動の活性化や啓蒙意識などによって実現できるものである。